山車展示室・スクリーンシアター

○ 氣比神宮例大祭のときに巡行する勇壮華麗な山車6基を収納、そ の内3基を展示し、定期的に入れ替えをします。また、スクリーンに 迫力ある映像(15分)が映し出され、3基のうち1基が、放映の最後 にせり出し、祭りの臨場感を味わっていただけます。

常設展示室

○山車の舞台の飾りにかつて用いられた鎧・兜・能面・飾り太刀・飾り 武者・飾り馬等を展示しています。

別館

- ○旧大和田銀行創業地の社屋を活用し、大和田銀行の資料や栄華を 誇った[北前船]関係の資料等を展示しています。
- ○「関ヶ原の合戦」の様子を表す観世屋町山車に敦賀城主であった大 谷吉継の武者人形が飾られていることから、それらに関わる資料 を展示しています。





敦賀市公認キャラクター 敦賀城主 大谷吉継『よっしー』

ご利用案内

■入館料【通常】

一般300円 団体250円(団体:20人以上)

高校生以下は無料です。 【博物館との共通入館】

一般500円 団体400円 (団体: 20人以上)

- ■開館時間 午前10時から午後5時まで
- ■休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休) 祝日の翌日

年末年始(12月29日から翌年の1月3日まで)

館内メンテナンス期間

- ■お 願 い 館内での喫煙、飲食はご遠慮ください。
- ■交通案内
- ◎JR敦賀駅から 徒歩約25分(約2km)、タクシー利用約5分 《市内バス案内》

・ぐるっと敦賀周遊バス「観光ルート」・・・・・『博物館通り』バス停下車すぐ ・コミュニティバス「松原線」・・・・・・・・・・『山車会館』バス停下車すぐ

- ◎氣比神宮から 徒歩約8分(約700m)、市内バス又はタクシー利用約3分
- ◎北陸自動車道敦賀インターから自家用車利用約7分



みなどつるが山車会館

〒914-0062 福井県敦賀市相生町7番6号 TFL.0770-21-5570 FAX.0770-21-5572

みなとつるが山車会館 検索









御所辻子山車使用





ちょうりょう しばきしゅず 張陵と司馬季主図















敦賀の山車の歴史

敦賀の山車の起源はさだかではないが、室町末期には 成立したと思われる。このことは、天正3年(1575)織田信長 の氣比社祭礼見物の伝説からもうかがえる。また、寛永19 年(1642)小浜藩初代藩主酒井忠勝、寛文3年(1663)の二 代忠直の山車観覧記録も残っている。

江戸時代にあっては、6町ずつに分かれ8月3日~4日に隔 年山車を曳き出していた。山車は、少ない年で30基、多い年 には50基も曳き出され賑わった。

明治6年(1873)、個人の山車を廃止するとともに、町で曳 き出す大山車を小山車に変更し、曳き山町12町から12基が 巡行することとした。また、太陽暦が採用されたことで9月3日 は神輿、4日は山車が巡行することになった。

昭和20年7月12日の戦災で山車の多くが焼失したが、多 くの人たちの努力でようやく6基が復旧・復元した。そして、 平成9年に山車会館が完成し、6基の山車を収納、昔の姿 をしのぶことができるようになった。山車の特徴は、武者人形 に実物の甲冑・能面、華麗な衣裳をつけて飾ることにある。